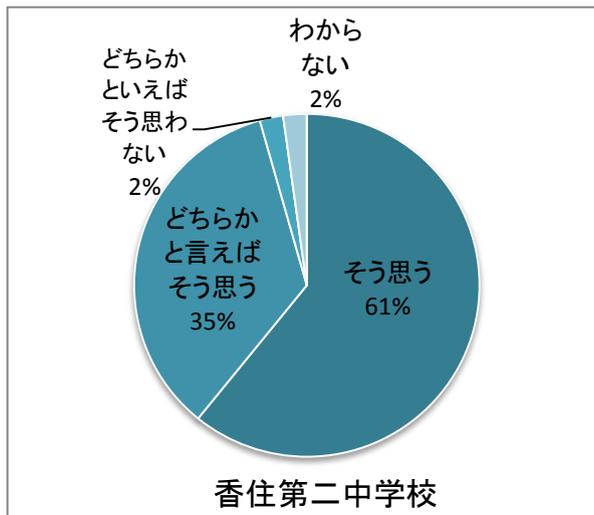
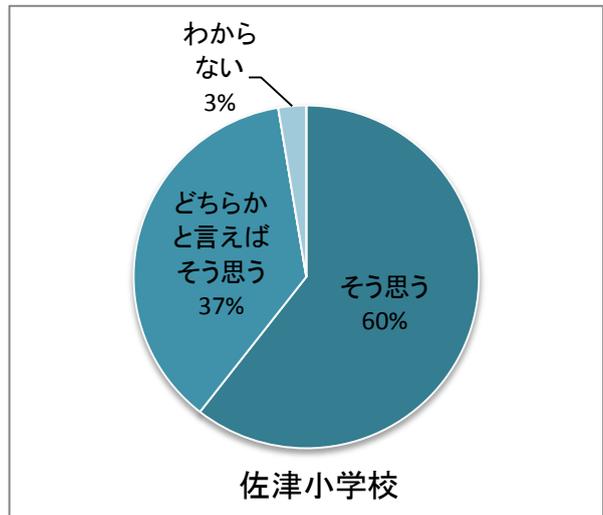
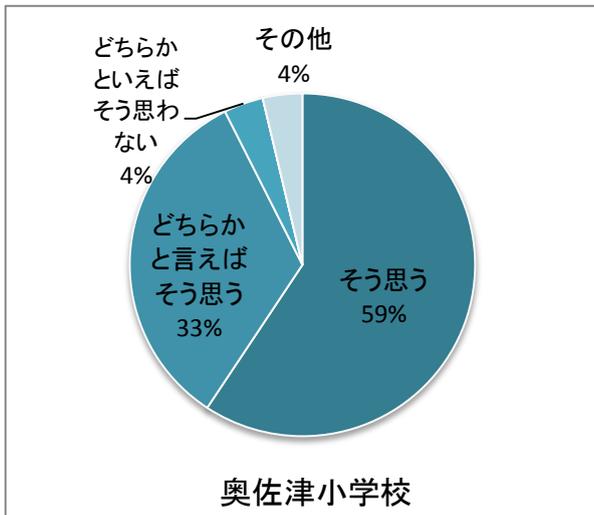


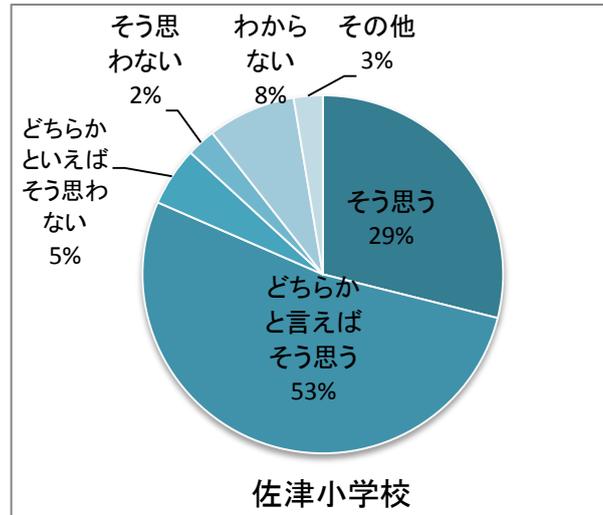
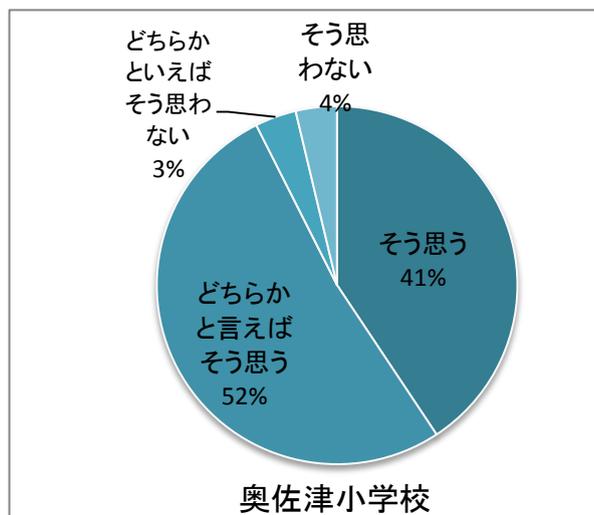
I 教育環境についてのアンケート結果の抜粋(平成24年7月実施分)

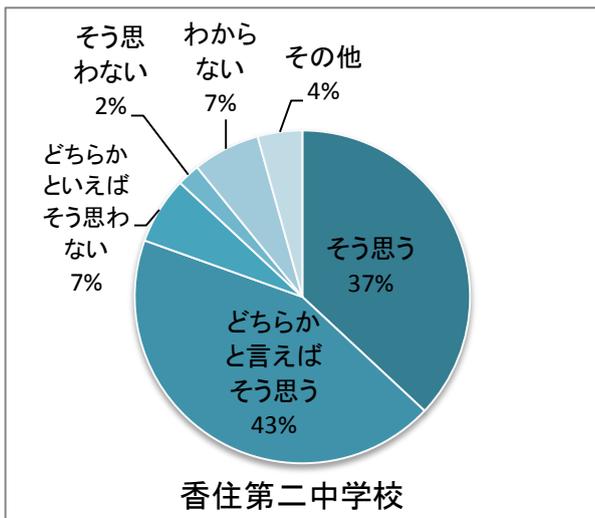
1. 子どもの様子について、明るく元気にたくましく育っていると思いますか(保護者)



保護者からみた子どもの様子について、3校とも9割以上が「明るく元気にたくましく育っている」と肯定的にとらえています。

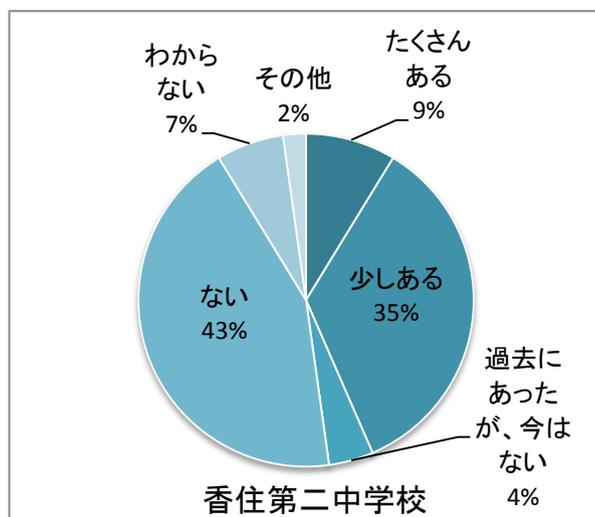
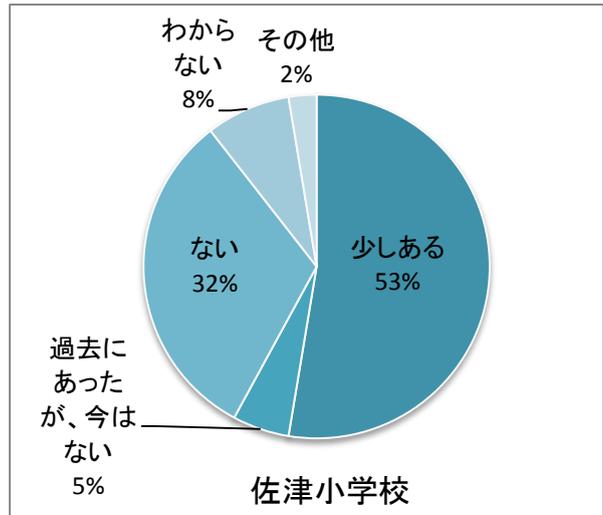
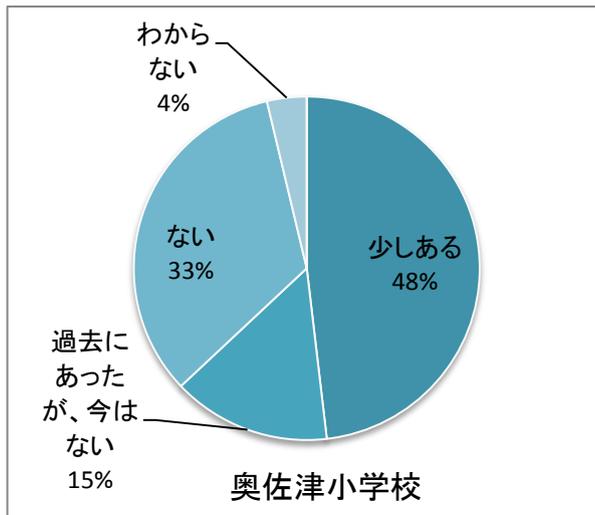
2. 学校が学習・生活の場としてふさわしい環境を整えていると思いますか(保護者)





佐津小、香住二中の8割、奥佐津小の9割以上が、ふさわしい環境が整っていると考えています。

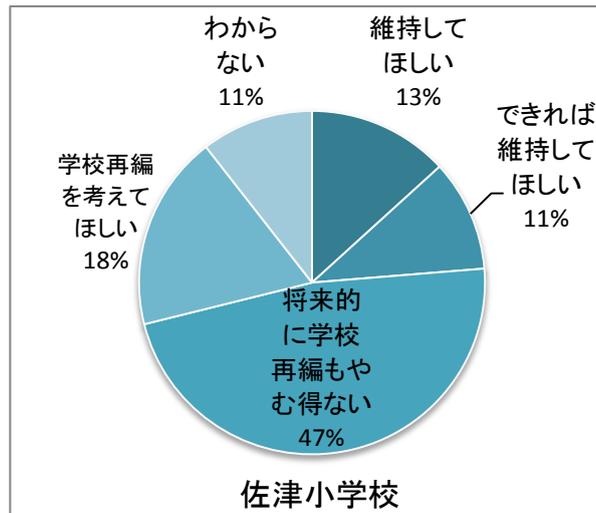
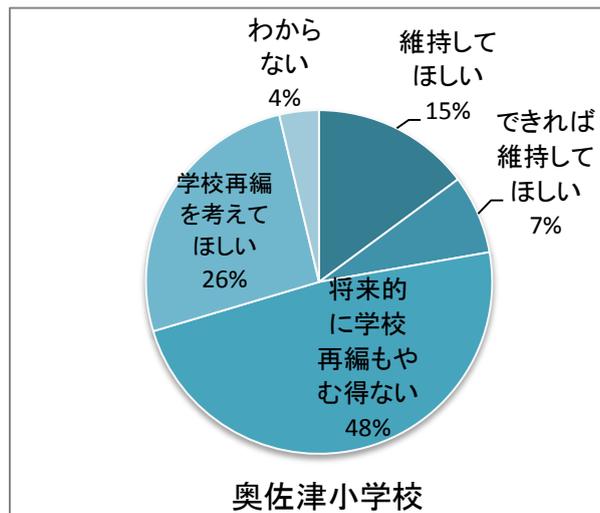
3. 子どもの学校園生活についての悩みや不安について(保護者)



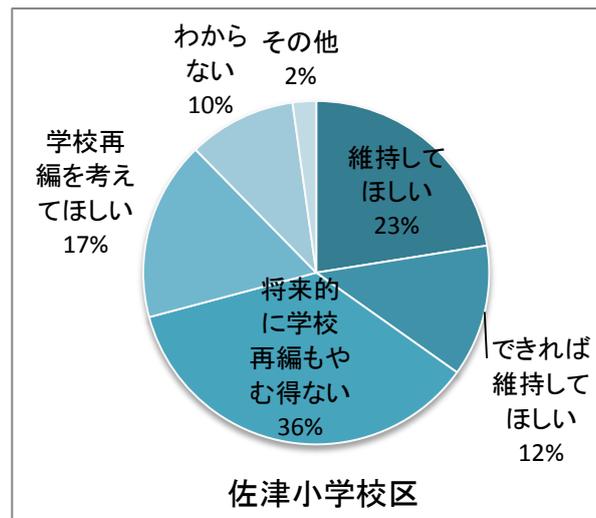
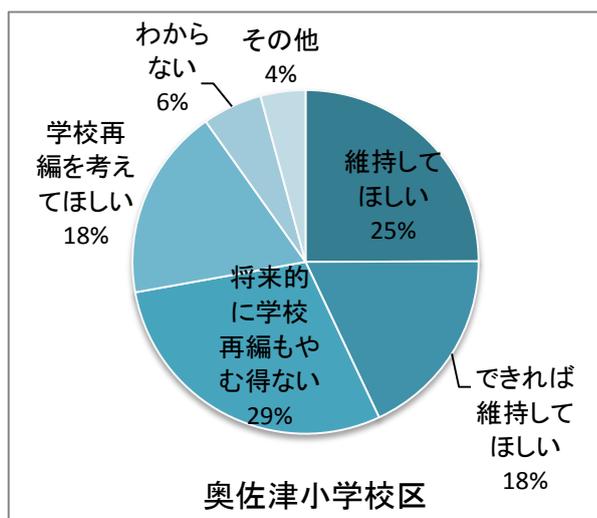
悩みや不安の内容は、小学校では「友だちとの関係」「学習や成績」が多く、中学校ではこのほか「将来の進路」が多くなっています。

4. 全学年が複式学級になっても小学校を維持していくべきだと思いますか。

保護者



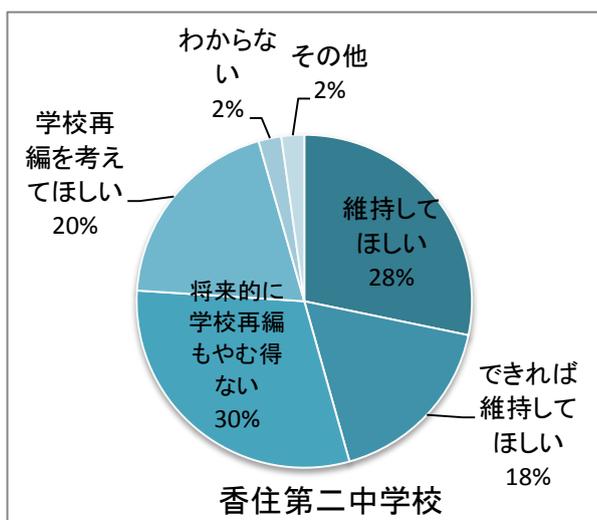
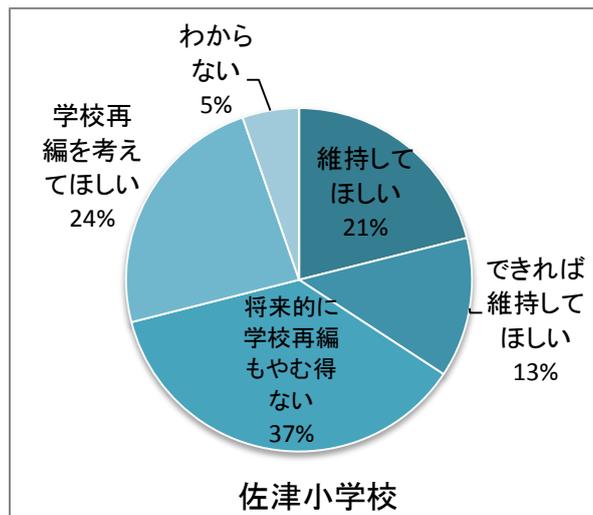
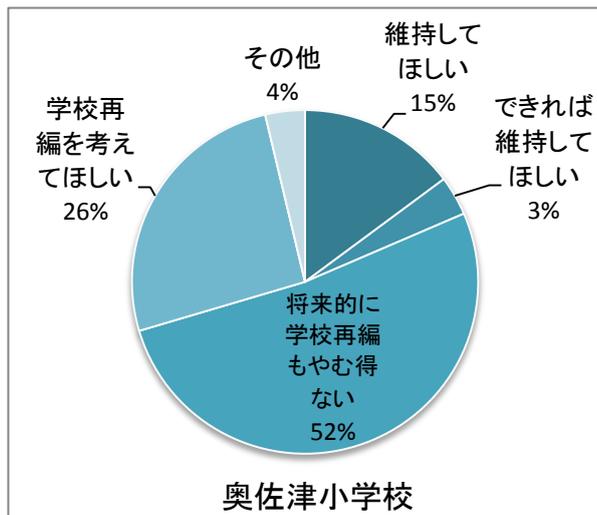
町民



小学校について、現在あるいは将来、全学年で複式学級になっても維持していくべきかたずねたところ、保護者に比べて町民の維持意向が高くなっています。保護者について「将来的に学校再編もやむを得ない」「学校再編を考えてほしい」が、奥佐津小で7割、佐津小で6割あります。

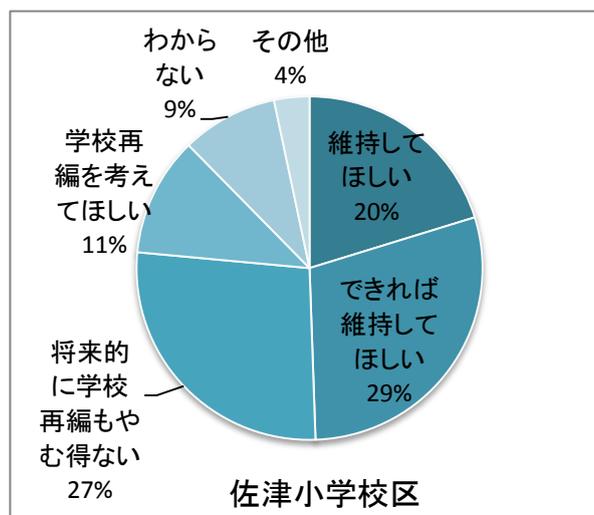
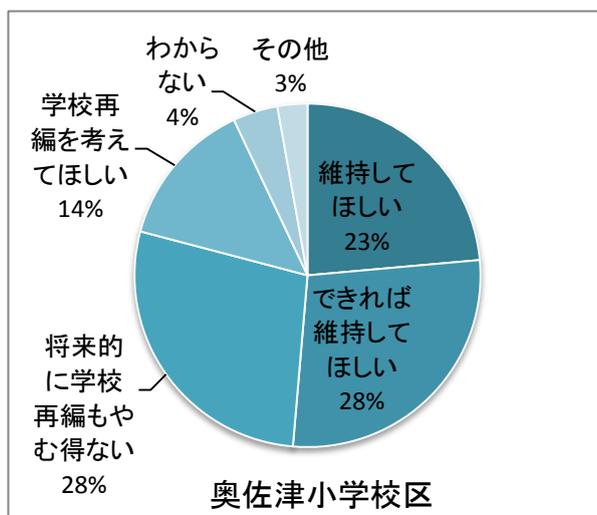
5. 中学校について、将来どうあるべきだと思いますか。

保護者



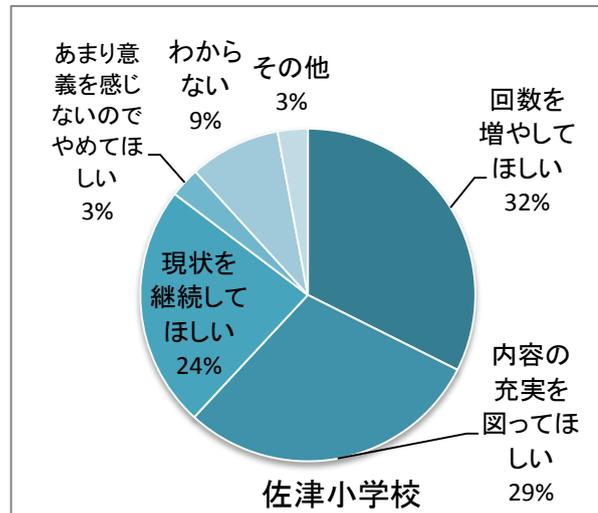
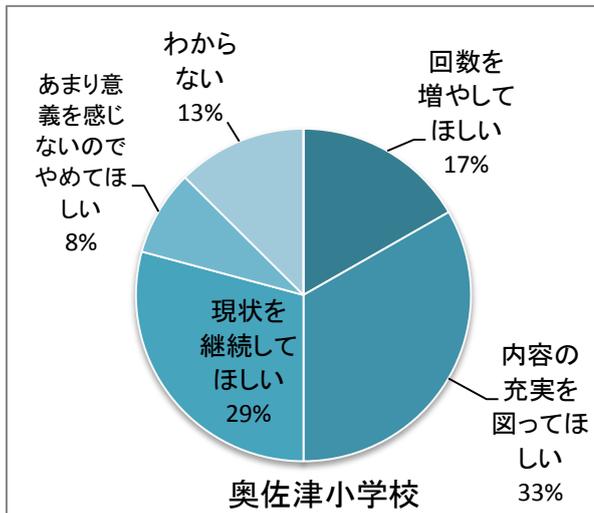
中学校の将来のあり方について、保護者に比べて町民の維持意向が高く、5割あります。保護者について「将来的に学校再編もやむを得ない」「学校再編を考えてほしい」が、奥佐津小で8割、佐津小で6割、香住二中で5割あります。

町民



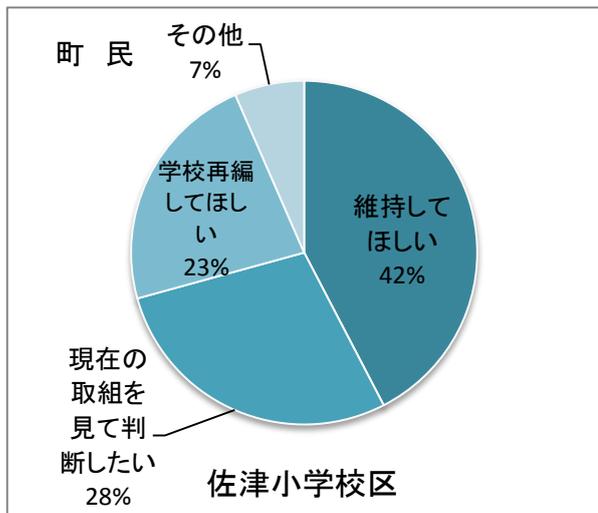
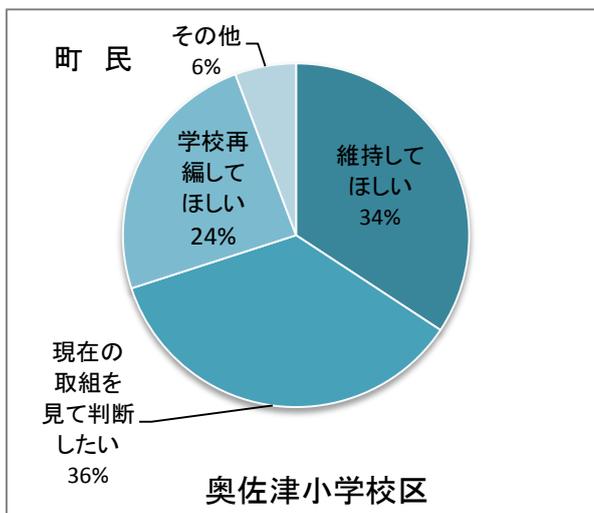
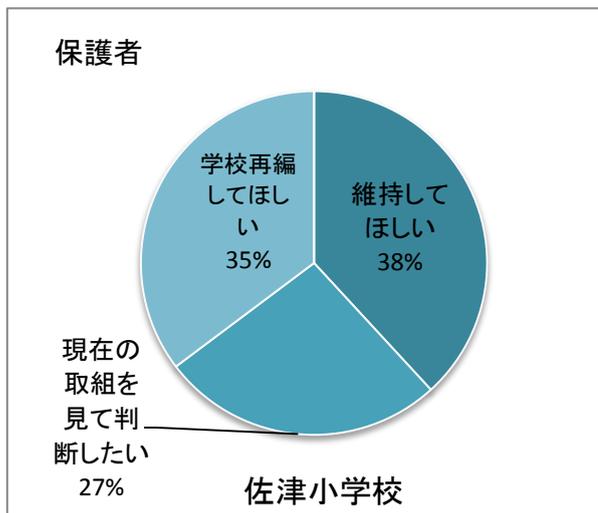
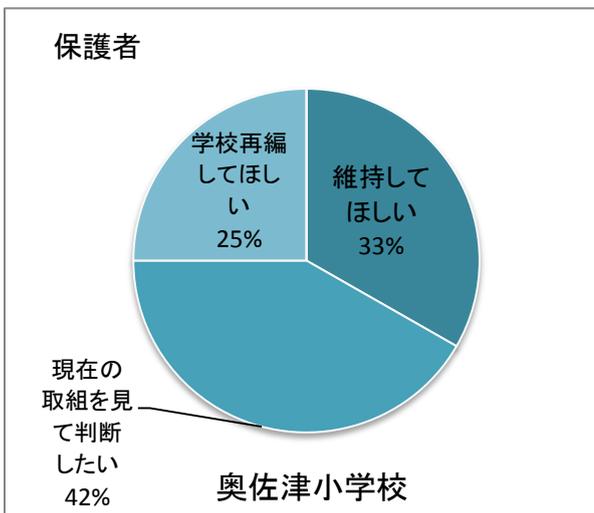
II 教育環境についてのアンケート結果の抜粋(平成26年1月実施分)

6. チャレンジプランの取組について(保護者)



「意義ある取組だと思う(回数を増やしてほしい、内容の充実を図ってほしい、現状を継続してほしい)」が8割あり、「あまり意義を感じないのでやめてほしい」が3～8%あります。

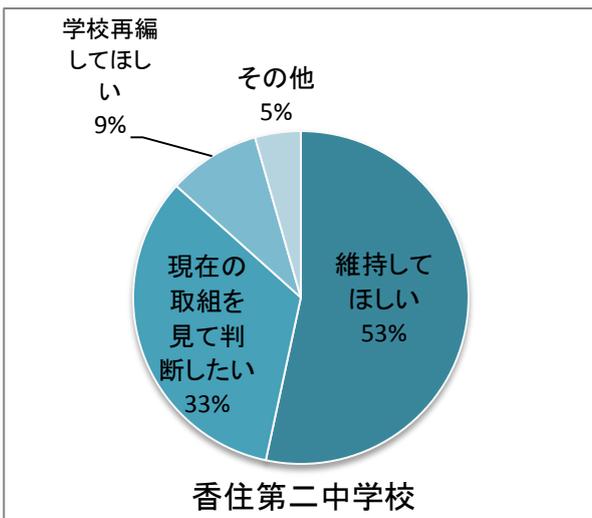
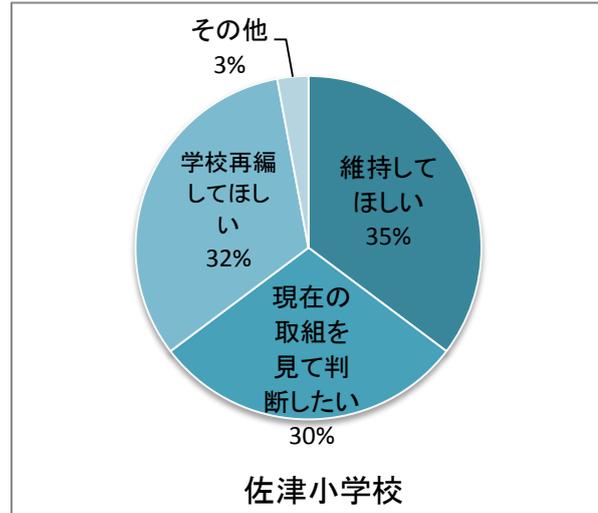
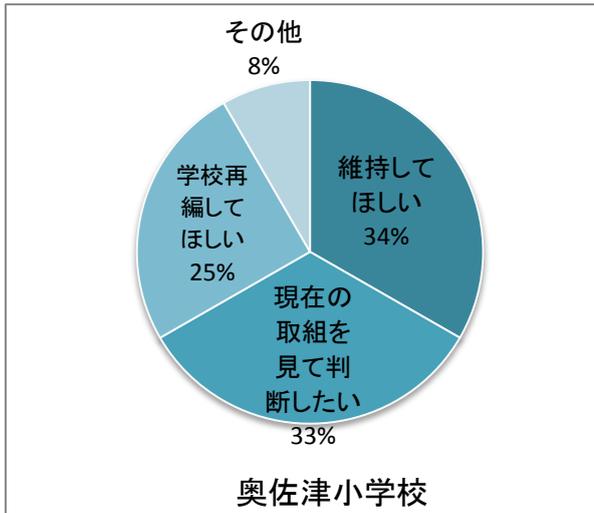
7. 小学校を今後も維持していくべきだと思いますか



保護者、町民とも再編意向より維持意向が高く、「現在の取組を見て判断したい」が奥佐津小学校の保護者で4割あります。

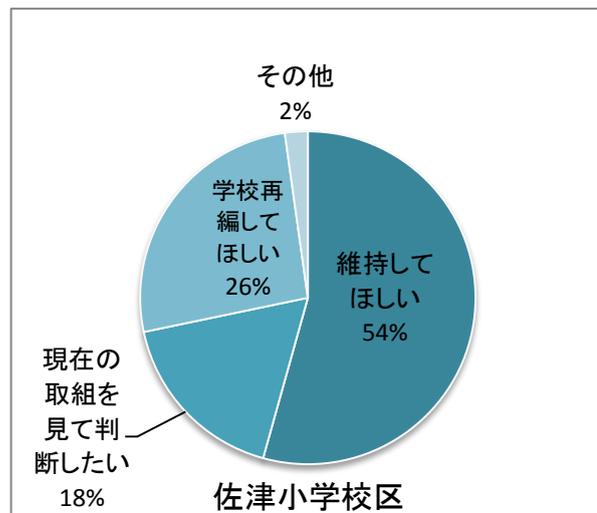
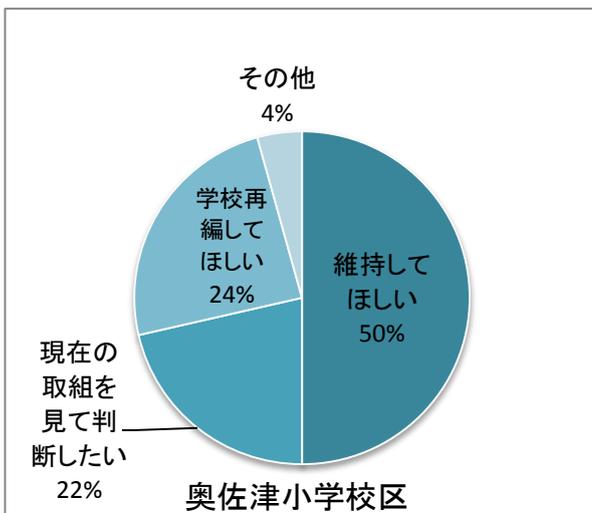
8. 中学校を今後も維持していくべきだと思いますか

保護者

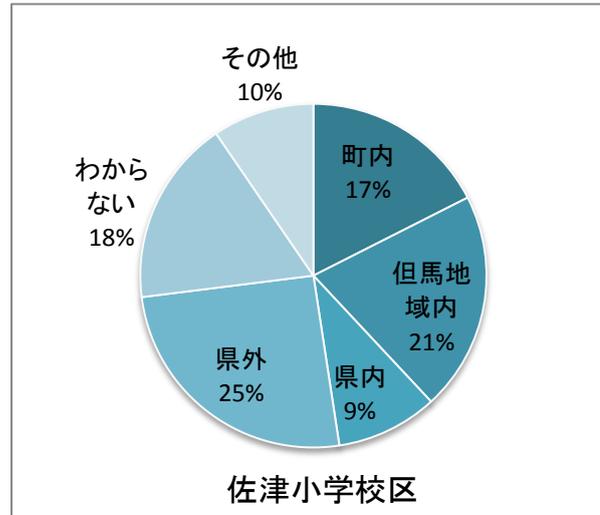
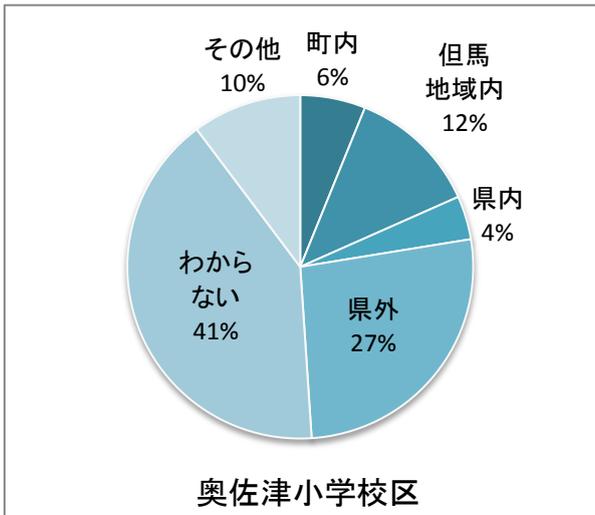


町民の維持意向は5割あります。保護者の維持意向は小学校では3割ありますが、中学校になると5割と高く、再編意向は9%と低くなっています。

町民



9. お子さんに将来どこに住んでほしいと思いますか(保護者)



保護者が子どもに将来住んでほしい地域は「県外」がもっとも多くあります。奥佐津小学校区では「わからない」が4割あります。

10. 「いじめ」に関する悩みや不安がありますか

「いじめ」に関する悩みや不安について、「ある」と6件回答がありました。内容を精査したところ、3件は「いじめ」に該当しない内容でした。残り3件については、「いじめ」と判断しにくい内容でしたので、学校に出向き調査を行いました。その結果、3件とも「いじめ」の定義にあてはまらない内容でした。

11. 体罰を受けたことがありますか

学校内の体罰について、「ある」と1件回答がありました。学校に出向き調査を行った結果、内容は体罰ではありませんでした。しかし、指導方法について見直しを図るよう指導を行ないました。

教育環境のアンケート結果の考察

《明るく元気にたくましく育っている子どもたち》

奥佐津小学校、佐津小学校、香住第二中学校の保護者は、9割以上の方が明るく元気にたくましく育っていると答えています。

このことから、3校の子どもたちが、明るく元気にたくましく育っているとあらためて確認できました。

《学習・生活の場としてふさわしい学校の環境》

子どもの通う学校について、「学習・生活の場としてふさわしい環境を整えていると思う」と佐津小学校、香住第二中学校で8割、奥佐津小学校で9割以上の保護者が答えています。

このことから、3校が学習・生活の場としてふさわしい環境を整えているとあらためて確認できました。

《悩みや不安の要因の多くは「友だち関係」》

子どもの学校生活についての悩みや不安に、保護者の約5割が「ある」と答えており、悩みや不安の多くは、「友だちとの関係」、次いで「学習や成績」と答えています。

このことや、保護者が複式学級に対する印象として「社会性や生活力の不足」「人間関係の固定化・序列化」「切磋琢磨する機会の不足」「集団学習の不足」などを解消するため、H25年度から「学校間スーパー連携チャレンジプラン」の取り組みを始めました。

《高いチャレンジプランへの評価》

チャレンジプランの取組について、「意義のある取組だと思う（回数を増やしてほしい、内容の充実を図ってほしい、現状を継続してほしい）」と保護者の8割が答えています。

このことから、チャレンジプランの取組が「意義がある」と評価され、継続して実施してほしいと保護者が考えていると捉えることができます。

《平成24・25年度の小学校の維持意向についての比較》

全学年で複式学級になっても小学校を維持していくべきかどうかたずねたところ、保護者に比べて町民の維持意向が高くなっています。保護者は、「将来的に学校再編もやむを得ない」「学校再編を考えてほしい」が奥佐津小学校で7割、佐津小学校で6割あります。

H25年度は、「現在の取組を見て判断したい」「学校再編してほしい」が奥佐津小学校で7割、佐津小学校で6割あります。

このことから、H24年度で「将来的に学校再編もやむを得ない」と回答した保護者がH25年度に「現在の取組を見て判断したい」と回答し、今後の小学校の取組に期待しています。

《平成24・25年度の中学校の維持意向についての比較》

中学校について「将来どうあるべきか」「今後も維持していくべきか」たずねたところ、H24年度は保護者に比べて町民の維持意向が高く5割あります。保護者は、「将来的に学校再編もやむを得ない」「学校再編を考えてほしい」が奥佐津小学校で8割、佐津小学校で6割、香住第二中学校で5割あります。

H25年度は、「現在の取組を見て判断したい」「学校再編をしてほしい」とする保護者は、奥佐津小学校で8割、佐津小学校で6割、香住第二中学校で4割あります。

このことから、H24年度で「将来的に学校再編もやむを得ない」と回答した保護者がH25年度に「現在の取組を見て判断したい」と回答し、今後の中学校の取組に期待しています。